

学校 **東雲**
だより (しのめ)



TEL 31-3170・31-3180 FAX 32-1130 http://www.hachinohe.ed.jp/higasi_j/

※東中学校の情報は、ホームページやブログでも公開しております。是非ご覧ください。

生活実践の応用の場としての冬休みに！

校長 戸来忠雄

年末の風物詩ともなった、一年間の世相を示す漢字一文字ですが、今年は「金」が選ばれました。「金」という字は、12年前のシドニー五輪が開催された2000年にも選ばれましたが、今年はロンドン五輪をはじめ、山中教授のiPS細胞によるノーベル賞受賞、高さ世界一でいわゆる「金字塔」となった東京スカイツリー、金環日食などの天体ショーもあり、様々な分野からイメージされた漢字と言えます。2位に選ばれたのは「輪」でしたが、これもロンドン五輪の選手団のチームワークや、東日本大震災後の市民の結束などからイメージされたのではないかと思います。保護者の皆様は、この一年を振り返り、どのような漢字を選ばれるのでしょうか？生徒会で企画した「今年の漢字」東中編が、玄関ホールに掲示されていますが、保護者の皆様も何かの機会にご覧いただき、お子さんの一年間の思いを共有していただければと思います。



さて、本日をもって2学期が終わりました。炎天下のもと、テーマ「爆ぜる」で完全燃焼した体育祭。1・2年生の新チームで臨み、好成績を残した市中体秋季大会。自分の特性や生き方をじっくり考えることができたグッジョブウィーク。「燦めき」のテーマのもと個性を尊重し、よりいっそう絆を深めた文化祭。今年も幼稚園児を釘付けにした3年生のパペロボ公演。大きな行事が目白押しで、慌ただしさの中にも内容の充実した2学期でした。また、生徒会をはじめ3年生がリードしてきた様々な活動や役割を、1・2年生が引き継ぐ節目の学期でもありました。日常の学校生活の中でも、学級の係活動や委員会活動など自分の果たすべき役割を自覚し、本当によく頑張っていました。校舎への落書きなど心ない行為に残念な場面もありましたが、事後に生徒から寄せられたメッセージには、「自分たちの東中を一人ひとりが大事にしていこう」という学校への思いが綴られ、大変心強くうれしく感じました。

明日から冬休みとなります。私は、冬休み期間というのは、これまで積み重ねてきた努力の成果を発揮する生活実践の応用の場であると考えます。東中における生活実践「5つの自ら～」にそれぞれの生徒が日々取り組んでいます。例えば「自ら挨拶を

する」ということにおいては、朝の挨拶運動はもちろん、日常の校内でその頑張りの様子がよく見られます。では、ご家庭ではどうでしょうか。東公民館や東体育館等の地域ではどうでしょうか。生徒たちは、社会の中で生きる力を身につけるために、勉強や生活改善に努めているわけですから、学校を離れた場面で実践できてこそ、初めて身についたと言えるのだと思います。他の生活実践についても同様です。冬休みは、5つの生活実践を応用する機会と捉え、学校以外の場所でも実行してほしいと思っています。そんな一つ一つの地味な努力が、社会で生きる力となって自分の中に蓄えられていくのです。人には、その年代で身につけるべき力があります。中学生は中学生の時に、高校生になればその年代に応じ、我々大人や親にもそれは言えるのではないのでしょうか。「鍛練」や「精進」は生きている限り、生徒が毎日取り組んでいる「自主勉強ノート」のようなもので、続けるエネルギーこそが「生きる力」とも言えます。これからも生徒が成長できるよう、保護者の皆様とともに見守っていきたいと思います。平成25年の新しい年も、よろしくお願い申し上げます。（2学期終業式の生徒に向けた式辞を、学校だより用に編集いたしました。）

少し元気の出る話No.10「ボランティア活動に参加」

12月16日（日）、2年生5名（土岐鈴佳さん、中村千聖さん、西宮真由さん、村山由葵乃さん、田村翔くん）と3年生7名（田中甲くん、永淵廉くん、戸来陸くん、田中真衣さん、庭田愛恵さん、佐々木梨緒奈さん、小野愛萌さん）が、グループホーム「かえで」のクリスマス会にボランティアとして参加しました。

校長先生の終業式の式辞の中に、2年生のグッジョブウィークがありました。また、3年生は、11月24日に八戸市公会堂での「はちのへYosakoiまつり」に参加しました。それぞれ、大きな成果を残すことができたのですが、それが一回限りのものに終わらず、何らかの形で継続すると、さらに生徒自身の成長にとって効果的なのだと思います。その点で、グッジョブでお世話になった事業所に再度呼ばれたり、東中がよさこいに参加したことで出演を依頼されたりすることは、学校として大変名誉でうれしいことなのです。また、今年度から「地域密着型教育」に取り組んでいますが、地域に貢献するという意味でも意義があるのではないのでしょうか。

今後とも、このような取り組みを続けていきたいと思っています。保護者の皆様も、地域の方々にとんどんご紹介していただければ幸いです。（文責：教頭 工藤聡）

